

広島県道徳教育の一層の充実向け
～学校段階における実践的課題改善の方向性～

平成24年度第2回広島県道徳教育研究協議会（全体報告会）

元文部省教科調査官 横山利弘

広島県の課題：文部科学省委託「小・中・高等学校道徳教育実践研究事業

学校間 異校種間等の連携による創意工夫を生かした道徳教育を推進するための実践研究
事業

本日の講演趣旨：学校間 異校種間の連携を生かした道徳教育を推進するための視点等を考える

I 学校間連携

目的：創意工夫の共有 教育レベルの学校間格差の解消

現状；推進教師の研修会 各学校の実践報告や質疑応答

；各学校の研究大会の相互参加・参観など

課題；道徳教育の分野に残存する学校間格差の是を克服すること

II 異校種間連携

目的：児童生徒の発達段階を考慮した一貫性・発展性のある道徳教育の実践

：学校段階の接続問題の解消

（例：小1プロブレム、中1ギャップ、高1中退問題など）

現状；幼小連携 入学前説明会（保護者対象）など

幼稚園保護者の小学校参観授業の開放など

；小中連携 中学校入学者情報交換など

相互の道徳授業の参観

中学生による小学校行事の参加など

中高連携 高校教師や高校生による中学校の学校紹介など

課題；道徳性の発達段階に応じた見と考慮の不足

III 学校間 異校種間の連携を生かした道徳教育を推進するための視点

1 学習指導要領の目標確認

2 発達段階の理解

3 道徳時間の目標理解

4 道徳時間資料の選択